

「小さい町の大きな幸せ」

株式会社パスポート 新中野店 小西 俊介

お店がある町は四万人。町の至るところで、常連のお客様に出会える、良い町です。そんな町で一番大きな小学校の運動会に、ひよんな事から招かれた時の話です。

子供たちが元気よく走りまわる校庭の周りに陣取った親御さんたち。その光景を「平和やな」と思いながら見ていた私の目に、信じられない光景が飛び込んできました。

なんと・・・観戦しているお母さん達の半分以上が、パスポートの商品をもっているではありませんか！ 驚きの光景でした。次の瞬間には、「あら！？ お兄ちゃん子供いたの？」とか、「子供何年生？」と矢継ぎ早に、たくさんのお母さん達からの質問攻め。

よくよく周りを見渡してみると、「あ、あの人も、あの人も・・・三日にいったん位、顔見るな」という人が何人もいて、本当に驚きました。

小さな町で、商圈としては最悪に近い状況のこの町。しかし、そこには確実にパスポートのファンがたくさんいて、改めて、「ココでしっかり頑張らなあかな！」「変なことできひんわー」と感じた一日でした。

運動会で出会ったたくさんのお母様たち。その後、来店していただいた際には、「お兄ちゃん元気してんの！」とか、「おいしい野菜取れたから、これあげるわー」など、本当にお世話になっています。

私と嫁が全く縁もゆかりもないこの土地。しかしこの町にきて早五年。今では一軒家まで購入し、この町で生きていく決意までしてしまいました。

田舎の人は、「面倒見がいい」とか、「世話好き」とか言いますが、いい意味で、めっちゃめっちゃおせっかいです。運動会で出会ったお母様たちのお母様（おばあちゃん）まで出てきたりして・・・野菜に困る事無く、うっかり新米が四〇キロ届いたり・・・もちろん全て無料です。

この町で、出会いは店員とお客様という立場でしたが、今では、なんとか地域の一員にもらった！という印象です。

今後も家族でこの町の人たちと関わっていききたいと思います。